

文化遺産保護に関する国際情報の収集・研究・発信 (コ01)

目的 文化遺産の保護制度や施策の国際動向及び国際協力等の情報を収集、分析して活用するとともに、国際共同研究を通じて保存・修復事業を実施するために必要な研究基盤整備を行う。また研究機関間の連携強化や共同研究、研究者間の情報交換の活発化、継続的な国際協力のネットワーク構築を推進する。

成果 1. 文化遺産保護に関する情報収集のため、以下の国際会議やシンポジウム等に出席した。収集した情報はデータベース等に蓄積するとともに、刊行物等で情報発信を行った。



第40回世界遺産委員会 (トルコ・イスタンブール)

- ・2016 (平成28) 年7月10日～15日、17日 第40回世界遺産委員会 (イスタンブール)
 - ・2016 (平成28) 年10月24日～26日 同・再開審議 (パリ)
 - ・2016 (平成28) 年12月13日～14日 ACCU奈良主催国際会議「アジア太平洋地域における文化遺産保護人材養成の実情と課題」
 - ・2017 (平成29) 年1月28日 金沢大学主催「世界遺産と共に生きる」シンポジウム
2. 文化遺産保護に関する情報収集のため、以下の調査を行った。収集した情報はデータベース等に蓄積するとともに、情報共有を行った。
- ・2017 (平成29) 年1月13日 岩手県教育委員会 (世界遺産の管理及び構成資産の拡張についての調査)
 - ・2017 (平成29) 年2月12日～16日 ヴァチカン美術館 (文化財保護及び情報管理活用についての調査)
 - ・2017 (平成29) 年3月6日 松本市文化スポーツ部文化振興課 (国内推薦候補選定の取り組み)
3. 対訳法令集シリーズの刊行：本年度はトルコについて、文化財保護関連の基本的法令の条文を和訳し、対訳法令集シリーズとして1冊刊行した。
4. 『世界遺産用語集 (改訂版)』の刊行：2015 (平成27) 年度に刊行した『世界遺産用語集』の項目を改め、最新情報を盛り込んだ改訂版を市販本として刊行し、広く情報発信を行った。

発表・『世界遺産年報2017』所収「第40回世界遺産委員会ニュース」への取材協力にて成果公表を行った。

刊行物・『各国の文化財保護法令シリーズ [21] トルコ』東京文化財研究所 17.3
・『世界遺産用語集 (改訂版)』東京文化財研究所 17.3

研究組織 ○江村知子、中山俊介、友田正彦、加藤雅人、境野飛鳥、増淵麻里耶、橋本広美、半戸文 (以上、文化遺産国際協力センター)、二神葉子 (文化財情報資料部)